

排水設備等工事チェックシート(公共樹取り出し用)

計画確認	完了届
------	-----

事業者名:

データ更新年月日: R7.3.27

確認事項		備考	施工者	市
一 下水道本管 (公道内人孔)	1	本管の口径、材質を図面等で確認している	☐	☐
	2	本管の穿孔位置は管頂から120度以内(片側60度以内)の角度で取り出ししている	☐	☐
	3	取り出しに用いる支管は、可とう性のあるものを使用している。 (人孔から直接公共樹を設置する際も継手は可とう性のある継手を使用しなければならない)	☐	☐
	4	新規で取出しを行う位置は他の取り出し位置や管の継手から1m以上の離隔を取って敷設している。	☐	☐
	5	人孔から直接取り出しを行う場合、新たに施工するインバートは本管の流れを阻害しないような角度で敷設している。 (人孔からの取り出しではない場合は「- (ハイフン)」を記入。)	☐	☐
	6	穿孔位置からインバートまで落差が60cm以上ある場合は、副管(省スペース型内副管)を使用している。 (人孔からの取り出しではない場合は「- (ハイフン)」を記入。)	☐	☐
二 公共樹	1	宅内に設置する公共樹の位置は、官民境界から1m以内に設置している	☐	☐
	2	公共樹には防護ハットを使用し、以下に示す耐荷重を満たしている。 宅地内: 8t以上 道路部: 25t以上(公道部は道路管理者の確認も必要)	☐	☐
三 工事調書	1	設置する(した)公共樹の官民境界からの距離及び民民境界からの距離を記載している。	☐	☐
	2	取り出し位置から公道にある上流マンホールからの距離を記載している。	☐	☐
	3	取り出し位置から設置する(した)公共樹の距離を記載している。 もしくは取り出し位置から官民境界までの距離を記載している。	☐	☐
	4	取り付け管の勾配を記載している。	☐	☐
	5	工事調書に、縮尺及び方位を記載している。	☐	☐
四 その他	1	公道内の人孔から直接取り出し工事を行う場合、事前に入孔を開け、ステップの位置等、穿孔に支障がないか確認をしている。 (人孔からの取り出しではない場合は「- (ハイフン)」を記入。)	☐	☐
	2	取り付け管は、道路側溝等、他の施設との離隔を十分に確保している。	☐	☐
	3	水道や雨水、ガス、電力、NTT等埋設物の確認を行っている。	☐	☐
	4	電力やNTT等、他の関係団体との調整や協議を十分に行っている。	☐	☐
	5	接続先が私設下水道(排水設備)の場合は接続や使用にかかる同意を得ている。	☐	☐
	6	掘削する土地の掘削にかかる同意書類を添付している。	☐	☐
	7	(完成届の場合のみ) 計画確認時から大幅な計画変更はない。 計画変更があった場合、市へと相談した上で施工している。	☐	☐